

わたしたちができること 知ることから

振津かつみ医師 講演会



兵庫医科大学遺伝学 助教/チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西 事務局
内科医. 広島・長崎の被爆者健康調査に携わり、ベラルーシで20年以上
被曝者支援を続け、福島でも被災者の医療相談を受けておられます。

日時：2013年6月22日(土) 午後2時~4時

場所：ユニゾンプラザ 5階 中研修室 (TEL 025-281-5511)

対象：どなたでも 参加費：無料 申し込み：不要

「福島原発事故の影響、健康障害のこれからは？」

内容 講演と質疑応答形式でお話頂きます

- ① 放射線は健康へどのように影響するのか
- ② チェルノブイリの健康障害の現況
- ③ 福島原発事故による健康障害の現況、将来の予測
- ④ 新潟で原発事故に対してできること



ヨウ素剤



原発の所在地と半径100kmの円



東日本のγ線空間線量



福島第一原子力発電所 2011.3

新潟市は 世界最大の
柏崎刈羽原発から100km。
風速10mの西風は3時間で到達。



託児あり。先着20名まで。
300円。事前申し込み不要。
会場への同伴もokです。

お子さま連れ
OKです



主催：内部被曝・低線量被曝を勉強する医師の会 永井博子、江口郁代、宮入暁子 wanwankonda@hotmail.com
協賛：医療法人サマリヤ会 大西医院、医療法人 押木内科神経内科医院、医療法人 荻部医院